





週間市場レポート (2020年5月11日~5月15日)

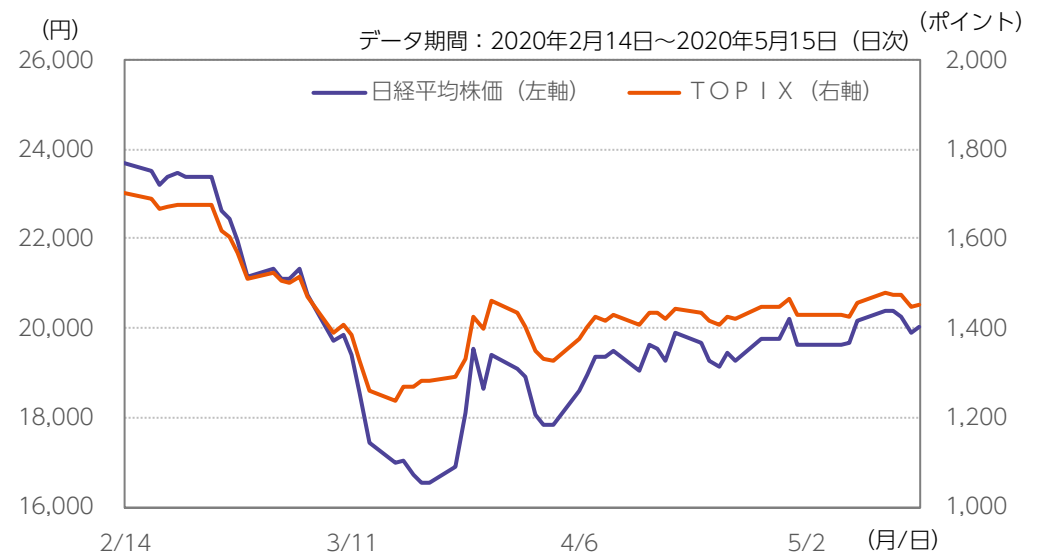
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/5/8	先週末 2020/5/15	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		20,179.09	20,037.47	▲ 0.70 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,458.28	1,453.77	▲ 0.31 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		24,331.32	23,685.42	▲ 2.65 ↓
S & P500種指数		2,929.80	2,863.70	▲ 2.26 ↓
ユーロ・ストックス50指数		2,908.11	2,770.70	▲ 4.73 ↓
S & P/ASX300指数		5,359.86	5,373.21	0.25 ↑
上海総合指数		2,895.34	2,868.46	▲ 0.93 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)※		758.67	746.50	▲ 1.60 ↓
東証REIT指数		1,655.72	1,553.23	▲ 6.19 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		632.37	580.21	▲ 8.25 ↓
ASX300 REIT 指数		1,140.20	1,118.20	▲ 1.93 ↓
グローバルREIT (除く日本)※		149.86	137.95	▲ 7.95 ↓
日本10年国債 (%)		▲ 0.00	0.00	0.00 ↑
米国10年国債 (%)		0.68	0.64	▲ 0.04 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.54	▲ 0.53	0.01 ↑
英国10年国債 (%)		0.24	0.23	▲ 0.00 ↓
ドル/円		106.65	107.06	0.38 ↑
ユーロ/円		115.50	116.02	0.45 ↑
英ポンド/円		132.30	129.55	▲ 2.08 ↓
豪ドル/円		69.68	68.67	▲ 1.46 ↓
フィラデルフィア半導体指数		1,775.61	1,700.89	▲ 4.21 ↓
WTI原油先物 (ドル)		24.74	29.43	18.96 ↑
CRB 指数		124.74	124.75	0.01 ↑
アレリアンMLP指数		715.74	707.35	▲ 1.17 ↓

2) 日本の株式・債券市場

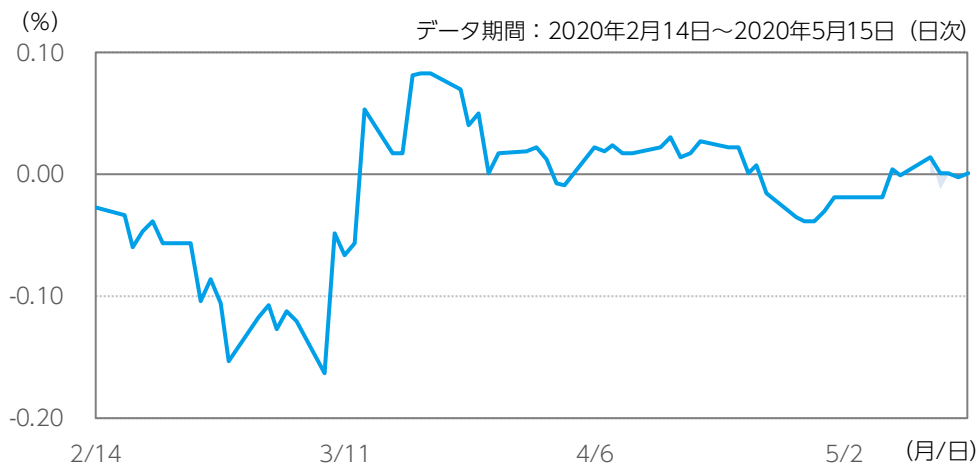
◀ 株式 ▶

日本株式市場 (日経平均株価) は、前週末比で小幅に下落しました。週初は、国内において緊急事態宣言が段階的に解除されるとの期待などから上昇してスタートしました。その後は、米景気後退懸念を受けた投資家心理の悪化により米国株式が下落した流れを受け、売りが優勢となりました。



≪ 債券 ≫

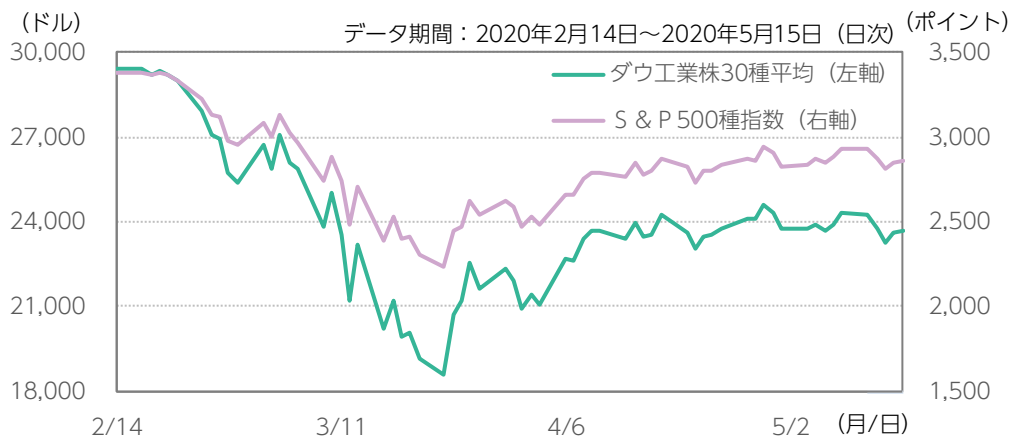
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。米国経済の先行き警戒感の高まりや株安などを背景とした投資家のリスク回避目的の買い(利回りは低下)と、経済活動の再開期待などを受けた売り(利回りは上昇)がきつ抗し、週間ではほぼ横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

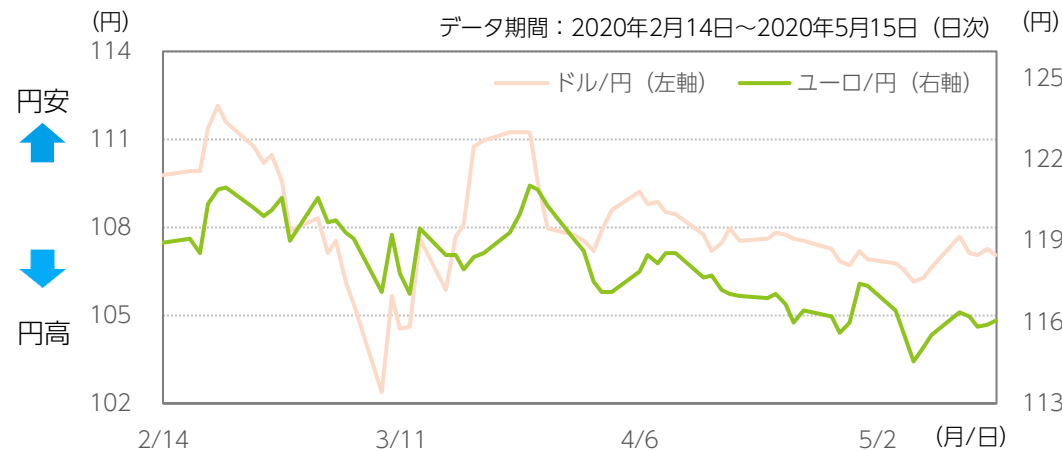
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で下落となりました。新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる米中対立の激化懸念がくすぶる中、パウエルF R B議長による米国経済の長期低迷懸念の発言を受けた投資家心理の悪化から、売りが優勢となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。経済活動の再開期待を受けた投資家のリスク選好姿勢の強まりを受けた円売り米ドル買いと、米国経済の長期低迷懸念を背景としたリスク回避による円買い米ドル売りがきつ抗し、週間では円売りがやや優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、パウエルF R B議長による米国経済の長期低迷懸念発言を受けた投資家心理の悪化から、日米両市場ともに前週末比で下落となりました。

ドイツ政府が飲食店を含む全店舗の営業を許可するなど、一部の国において新型コロナウイルス対策の規制を段階的に緩和する動きが見られるものの、規制緩和を行った国において感染者数が再び増加するなど、感染第2波への警戒感が高まっています。今後も、国内外における感染者数の動向や、経済活動の再開に向けた各国の規制緩和の範囲や時期が注目されそうです。

今週の株式市場は、新型コロナの感染第2波と米中対立激化への警戒感がくすぶるものの、主要国の追加経済対策への期待と経済活動再開への期待感から日米両市場ともに上値を探る展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>